

# 栄養豊富な

# トマト・ミニトマトの

# カルシウム強化栽培！

## 体質強化！

## 品質向上！

## 食味向上！

## 鮮度保持！



トマトは機能性として抗酸化作用があり、ビタミンC・  
 $\beta$ -カロテン・カルシウムなど栄養素が豊富な健康野菜！！

【硫酸カルシウム肥料】



# カルゲン®

【粉状・粒状】 15 kg入り

## トマト栽培の特長

- ◆ 栽培適性の土壌 pH は 6.0～7.0 の弱酸性～中性
- ◆ 土壌は有機質に富み、保水力があり、排水が良く、耕土の深い圃場を好む
- ◆ 品質・収量は適正な水分管理が重要なポイントとなる
- ◆ 好カルシウム植物のトマトは生育の全ステージでカルシウムを必要とする
- ◆ カルシウムが不足すると芯止まり・葉先枯れ・尻腐れ・芯腐れ・空洞果等の発生要因となる
- ◆ 微量要素欠乏（ホウ素欠乏）も発生し易いので十分に注意する
- ◆ ホウ素欠乏が発生する状況ではカルシウムの吸収は著しく低下する

## 養分吸収量（収穫 1 トン当たり） kg

チッソ N	リン酸 P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	カリ K <sub>2</sub> O	カルシウム Ca	マグネシウム Mg
3.2	1.0	4.9	4.2	0.9

## カルゲンとは・・・

- ◆ カルシウムとイオウが結びついた石膏（農業用石膏）を主原料に製造したカルシウム特殊肥料
- ◆ 酸性のカルシウム肥料ですから土壌の pH が上昇することなく、連用することで土壌を団粒化して、有効微生物の繁殖を促す
- ◆ 石灰類（炭カル）に比べ約 170 倍水に溶けやすく、作物に吸収されやすい水溶性のカルシウム肥料
- ◆ 作物が健全に生育するために必要なカルシウムの養分補給に最適
- ◆ 特に、窒素過剰による生育障害を軽減（拮抗作用）

## カルゲン施用量（当社推奨基準）

	施用方法	施用量	備考
元 肥	全面土壌混和	4～6袋/10a	定植前（他の肥料と同時施用）
追 肥 1	畝間に施用	2袋/10a	3段目交配後頃
追 肥 2	土壌灌水・葉面散布 （ネオカル水和剤又は カルゲンβ液剤）	100～150ℓ/10a 1,000倍液	各段数毎に 農薬と混用可能 （銅剤・アルカリ剤を除く）

☆ 上記の施用量は標準です。土壌診断を基準に施用量を増減してください。

☆ 酸性土壌の場合は石灰類等を加用してください。

☆ 詳しくは、お近くの販売店または営農指導員の方へお尋ねください。

《総販売元》



吉野石膏販売株式会社